

## 第3回理事会報告

- 日 時 平成28年1月27日(水)午後3時~同4時20分
- 場 所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会 長> 住友雅人  
<副 会 長> 松村英雄、今井 裕  
<総務理事> 井上 孝  
<常任理事> 小林慶太、小林隆太郎、大浦 清、  
栗田賢一、山崎要一、和泉雄一、  
櫻井 薫、俣木志朗、渡邊文彦  
<理 事> 山崎安仁、興地隆史、矢谷博文、石川博之、  
米山隆之、金田 隆、一戸達也、渋谷 鑛、  
末高武彦、金子明寛、小林 馨、仙波伊知郎、  
福島正義
- 第23回日本歯科医学会総会  
<会 頭> 水田祥代 <準備委員長> 北村憲司
- 日本学術会議歯学委員会  
<副委員長> 山口 朗
- 国際歯科研究学会日本部会(JADR)  
<副 会 長> 山崎和久
- 欠席者 <常任理事> 山本照子、寺尾隆治、宮崎秀夫  
<理 事> 柿木保明

[議長 井上総務理事]

### 1. 開 会

松村副会長より、開会の辞。

## 2. 挨拶

住友会長より、挨拶がなされた。

## 3. 報告

### 1) 一般会務報告

井上総務理事より、次の資料に基づき報告が行われた。

- 一般会務報告（平成 27 年 7 月 16 日～平成 28 年 1 月 21 日）
- 第 2 回理事会報告（平成 27 年 7 月 22 日）
- 第 1 回常任理事会報告（平成 27 年 7 月 22 日）
- 第 2 回常任理事会報告（平成 27 年 12 月 18 日）

### 2) 専門・認定分科会への情報提供

（平成 27 年 7 月 16 日～平成 28 年 1 月 21 日）

### 3) 会計現況報告

井上総務理事より、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会収支計算書（平成 27 年 4 月 1 日から 12 月 31 日）
- 第 23 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書  
（平成 27 年 4 月 1 日から 12 月 31 日）

### 4) 平成 28 年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価

小林（隆）常任委員より、標記について資料に基づき説明され、1 月 20 日に開催された中医協総会の内容より、平成 28 年度診療報酬改定に向けた医療技術評価について報告がなされた。

### 5) 平成 27 年度日本歯科医学会第 1 回ワークショップ報告書

小林（隆）常任委員より、標記について資料に基づき説明され、平成 27 年 12 月 4 日（金）に開催した、第 1 回ワークショップの報告がなされた。

### 6) 日本医療安全調査機構との「医療事故調査・支援センターが行う業務に係る医療系学会の協力についての覚書」の取り交わしについて

今井副会長より、標記について資料に基づき説明され、平成 27 年 10 月より施行された医療事故調査制度における協力体制を構築すること、また、4 月以降、法人格を取得した一般社団法人日本歯科医学会連合と一般社団法人日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）とで覚書を取り交わすことが同意されていることの報告がなされた。

7) 日本歯科医学会平成 28 年度諸会議開催予定

井上総務理事より、標記について資料に基づき説明され、原案通りの日程で開催することが確認された。

8) 第 23 回日本歯科医学会総会準備状況報告

水田会頭より挨拶がなされ、本年 10 月 21 日（金）から 23 日（日）に開催される第 23 回日本歯科医学会総会まであと 268 日となった。学術プログラムが確定し、開会講演に山中伸弥氏（京都大学 iPS 細胞研究所教授）ならびに向井千秋氏（東京理科大学副学長）が決定した。

また本年 4 月から事前参加登録が開始される。日本歯科医師会、日本歯科医学会をはじめ幹事校である九州地区 4 大学（九州大学、九州歯科大学、長崎大学、鹿児島大学）との協力により準備を進めていく旨が述べられた。

北村準備委員長より、標記について資料に基づき説明され、準備状況が報告された。

学術プログラム構成は、講演：10 題、シンポジウム：13 題、テーブルクリニック：28 題、ポスターセッション：400 題、視聴覚セッション：5 題、国際セッション：10 題、日歯プログラム：2 題、分科会プログラム：9 題、九地連プログラム：1 題、ランチョンセミナー：14 題、公開フォーラム、市民イベントが企画されていることが報告された。

9) その他

▶ 日本学術会議報告

山口日本学術会議歯学委員会副委員長より標記について資料に基づき説明され、2015 年 4 月に開催された日本学術会議第 169 回総会の開催、第 23 期歯学委員会の開催について報告され、また本年度開催される日本学術会議第 170 回総会、公開シンポジウム、市民公開シンポジウムについて説明がな

された。

▶ 国際歯科研究学会日本部会報告

国際歯科研究学会日本部会山崎副会長より、JADR は日本歯科医学会からの調査委託を受けているが、委託内容について、昨年9月4日に住友会長、井上総務理事と JADR の執行部で懇談会を開催し、そこでの意見を踏まえ今後検討していく旨が述べられた。

#### 4. 議 題

1) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

松村副会長より、標記について顕彰審議会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、答申内容を了承し、2月24日開催の第94回評議員会の中で、授賞式を執り行うこととした。なお、授賞者は以下の通りである。

<研究部門>

山口 朗（東京医科歯科大学名誉教授／日本臨床口腔病理学会推薦）

高野 吉郎（東京医科歯科大学名誉教授／歯科基礎医学会学会推薦）

吉江 弘正（新潟大学大学院医歯学総合研究科教授／

日本歯周病学会学会推薦）

<教育部門>

川浪 雅光（北海道大学名誉教授）／日本歯周病学会学会推薦）

勝海 一郎（日本歯科大学生命歯学部教授／日本歯科保存学会学会推薦）

小谷順一郎（大阪歯科大学名誉教授／日本歯科麻酔学会学会推薦）

<地域歯科医療部門>

中川 正晴（山形県歯科医師会会員／日本歯科医師会推薦）

2) 専門・認定分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて

井上総務理事より、認定分科会への登録申請があった日本法歯科医学会の登録資格審査に係る答申内容について、答申書に基づき報告が行われ、同委員会（委員長：小谷順一郎）からの指摘箇所（認定分科会承認基準 2.（4）、（6）①）について説明がなされた。

認定分科会承認基準 2.（4）については、議決機関と執行機関が分離

されており役員の選出が会則の上で規定されているなど組織が明確であることに関して、議決機関が不明瞭であることが指摘された。

認定分科会承認基準 2. (6) ①については、日本法歯科医学会が発行している雑誌（機関誌）が年1回以上定期的に刊行されていて、さらに原著論文が年5編以上掲載されていることであるが、委員会で審査したところ原著論文または準ずる論文として平均約2編であることが指摘された。

委員会の意見として、社会的位置づけが求められている、登録申請学会の存在意義は大きいことが付けられている。

常任理事会では各常任理事より意見を求めその後、日本法歯科医学会の登録の可否について投票を行った。

投票結果は、出席常任委員13名、有効票数：13票、可：1票、否：12票、常任理事会では否決された。

以上の報告を踏まえ、登録の可否について投票を行った。

投票結果 出席常任委員26名、有効票数：26票、無効投票：なし、可：5票、否：21票

理事会で認定分科会への登録が否決された。

### 3) 第94回評議員会について

#### ○ 第1号議案 平成28年度日本歯科医学会事業計画

井上総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、2月24日開催の第94回評議員会に、第1号議案として上程することとした。

#### ○ 第2号議案 平成28年度学会会計収支予算

高橋常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、2月24日開催の第94回評議員会に、第2号議案として上程することとした。

#### ○ 第3号議案 平成28年度第23回日本歯科医学会学術大会会計収支予算

高橋常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、2月24日開催の第92回評議員会に、第4号議案として上程することとした。

## 5. 閉 会

今井副会長より、閉会の辞。